

原発、産廃、斎場など

今議会の一般質問は、16、17、21、22日に行われます。1日5～6人のペースですので、日本共産党の各議員の一般質問は、21日と22日になりそうです。

なお、議事の進行具合によっては、前後する可能性もあります。

上野公悦議員<15番目>

1. 原発問題に関する県の政策を受けて市の対応と、東京電力との関係について
2. 子ども医療費助成制度と就学援助制度の拡充について

橋本正幸議員<21番目>

1. 三和区の残置産業廃棄物について
2. 国民健康保険税の1世帯1万円の引き下げについて

橋爪法一議員<22番目>

1. 日米共同訓練について
2. 新斎場建設事業について
3. 介護保険の居宅介護住宅改修費における途中死亡者への配慮について

平良木哲也議員<23番目>

1. 上越市内の医師・看護師確保について
2. 「国宝太刀無銘一文字(号山鳥毛)」購入事業について
3. 金谷山の登坂路(通称レルヒロード)への防犯灯(街灯)設置について

日本共産党上越市議員団ニュース

No. 538 2017年3月19日

連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
 絡 橋本 正幸 080-1980-9855 (三和区鴨井)
 先 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
 平良木哲也 090-1808-6919 (上中田)

議会の場だけが市民合意なのか 刀剣購入で論戦

市議会文教経済委員会

9日の市議会文教経済常任委員会審議で、国宝の刀剣購入事業について、論戦が行われました。

上野議員は、「この事業では、各地で行われている講座や市民組織の取り組みなどで『義の心』を強調し、人の心の内側、内心に踏み込むような姿勢になっっているのではないかと指摘しましたが、教育長はじめ教育委員会は、「いわゆる『義の心』への理解は人それぞれ」としながらも、「今回の購入事業は市の連帯の心をつくり、精神性を高めるきっかけになるものだ」と説明しました。

また、上野議員が、「20回以上にもわたる講座は、購入を前提としており、市民合意を得るような努力が感じられない」と指摘しましたが、これに対して教



育委員会は、「講座は購入の提案を前提に説明した。講座などの説明会では市民同意を得ることは必要とは考えていない。この議会の場が市民合意であると考えている」と答えました。

これでは、「市議会でも多数議席を取りさえすれば、個々の政策課題では市民の意見を聞いたり合意を得たりすることはしなくてもいいのだ」と言っているようなものです。

議会制民主主義の制度では、市民の代表として選挙で議員を選び、その議員が有権者の意見を議会に反映させることになっています。しかし、選挙は4年ごとであること、すべての政治姿勢を明らかにした上での選択にはなっていないことなど、民意の反映には自ずと限界があります。行政執行に当たっては、この限界をわきまえた上で、議会の議決だけでは反映されない深い民意をくみ取ることが必要です。

この刀剣を購入してほしいという市民もいる一方で、多くの市民から「それだけのお金は暮らしにまわしてほしい」「高い保険料の負担などでギリギリの暮らしをしている身にとっては、税金の使い方もっと考えてほしい」という声が出されています。こうした声をいかに敏感に感じ取るかが、政治家としての品格ではないでしょうか。

100人以上がつどい 現地で抗議デモ 関山演習場前

関山演習場などでの「日米共同訓練」では、3月9日にオスプレイが予告なく飛来するなど、詳しい情報が市民に提示されないまま、強行されています。特に、9日の飛来は児童生徒の下校時間とも重なり、万が一のことがあれば大変な事態です。

これらを含め「戦争準備の日米共同訓練反対」を掲げて、13日

朝、関山演習場前を中心に、抗議デモが行われました。

デモには、県内外から100人以上の市民が参加し、「危険な日米共同訓練反対!」「オスプレイは来るな!」「集団的自衛権の行使反対!」「海兵隊はアメリカに帰れ!」「憲法改悪反対!」とシュプレヒコールをあげました。

